

# 埼玉県における 産業廃棄物行政

埼玉県環境部産業廃棄物指導課

主幹 葛西 聡



1 埼玉県産業廃棄物の処理状況

2 不適正処理対策  
～ 廃棄物の山対策～

3 循環型社会の構築  
～ 彩の国資源循環工場の概要～



# 1 埼玉県の産業廃棄物の処理状況

近隣都県からの中間処理を目的とした産業  
廃棄物の流入が多い

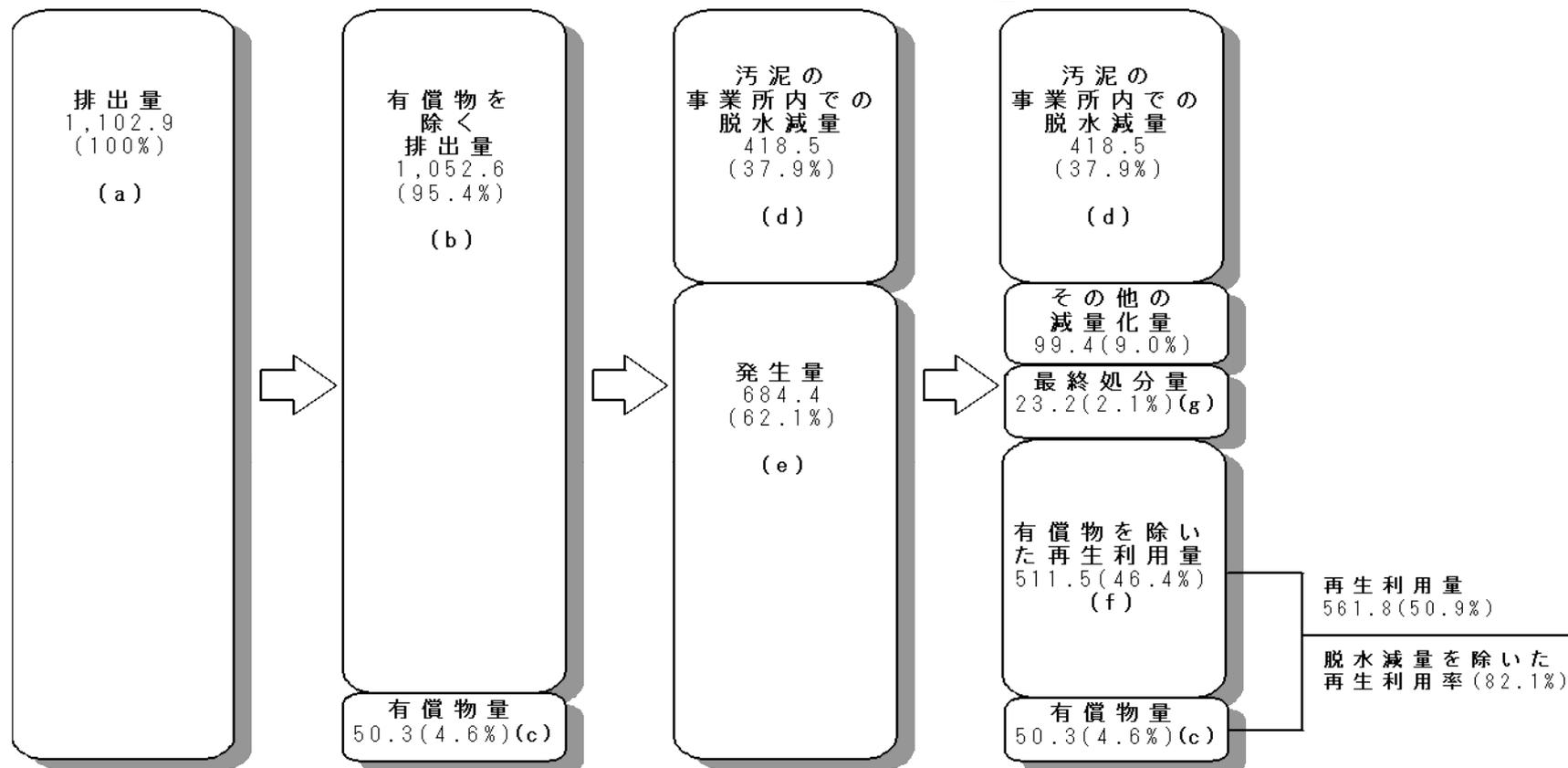
内陸県であり都市化の進展により、最終処  
分場の確保が困難

最終処分の県外依存度が高い



# 産業廃棄物の処理・処分フロー

(単位：万トン/年)



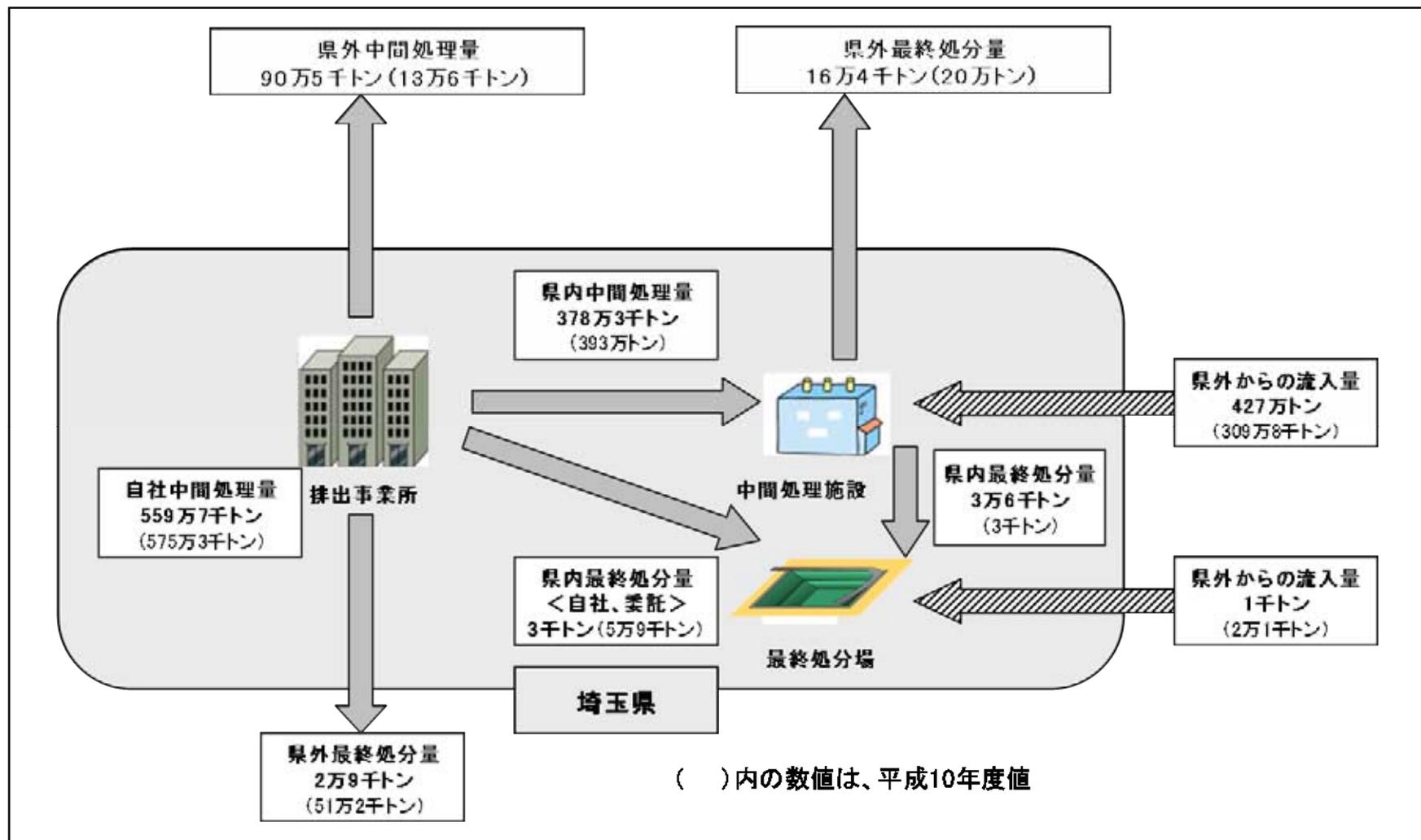
主1：脱水減量とは、事業所内にある脱水工程により得られた水分量をいう

主2：再生利用率：50.9% ( $(f+c)/a$ )

主3：汚泥の事業所内での脱水減量を除いた場合の再生利用率：82.1% ( $(f+c)/e$ )

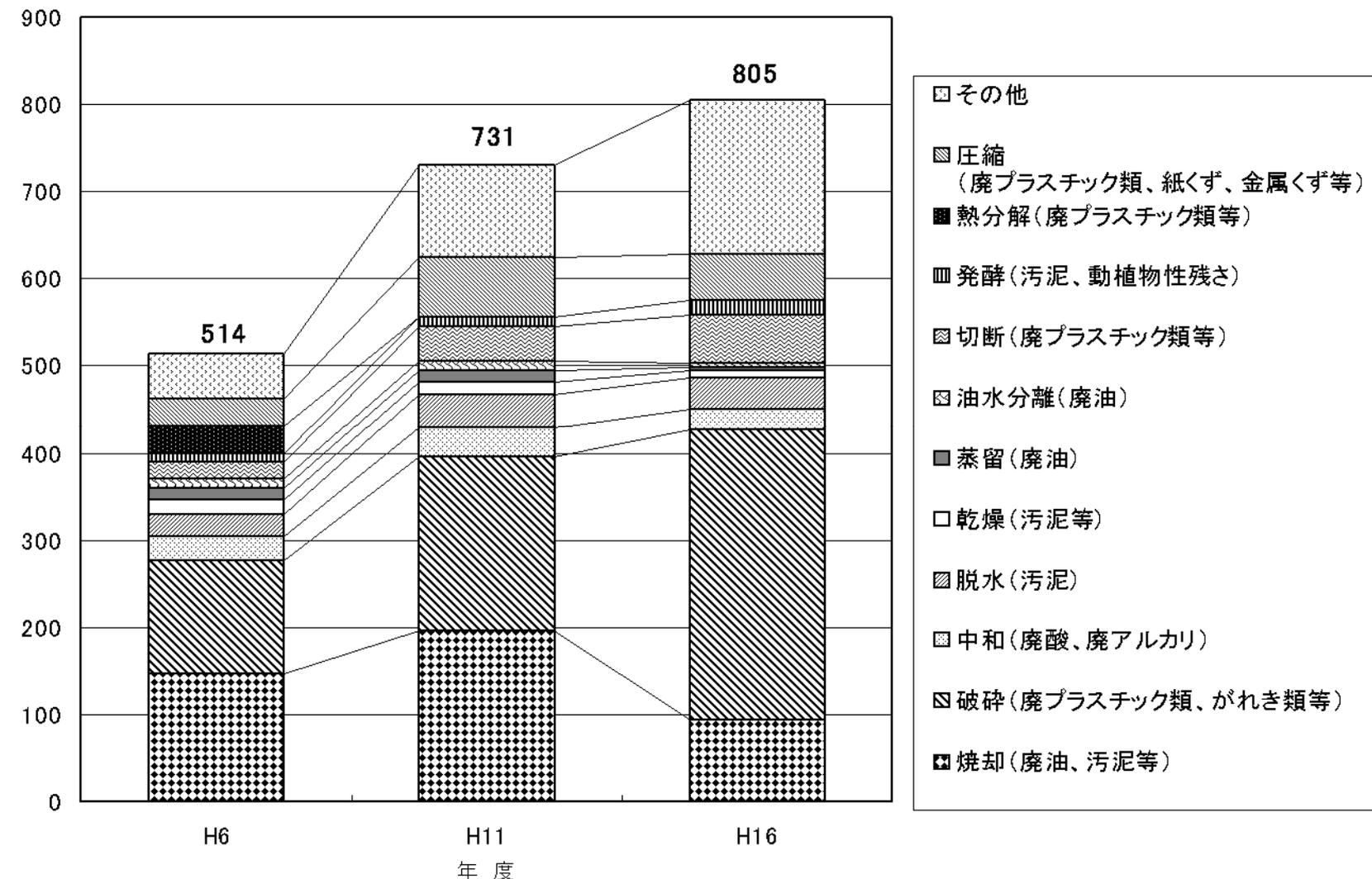


# 産業廃棄物の移動状況(平成15年度実績)



# 産業廃棄物中間処理施設の設置状況

(施設)

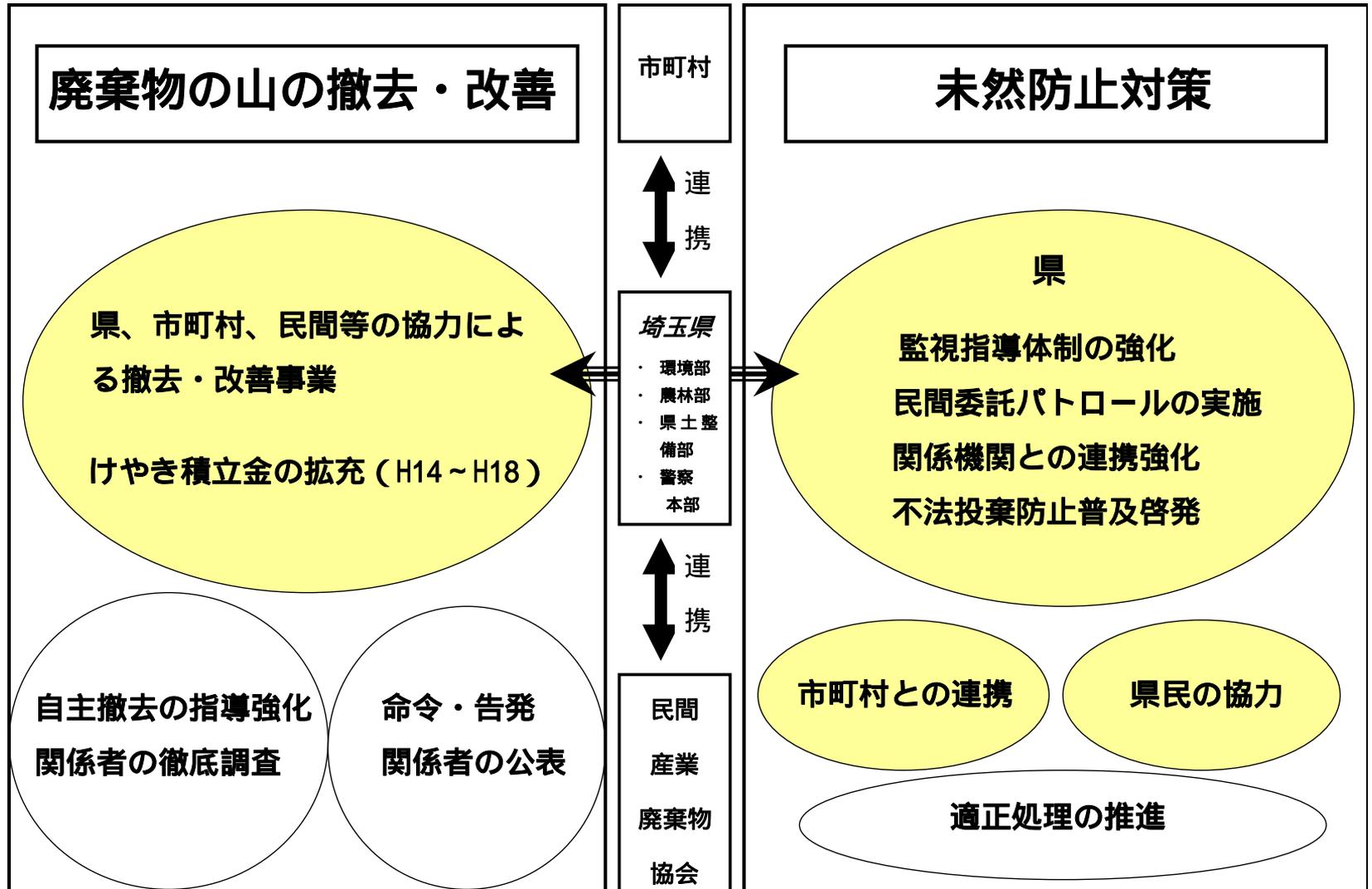


## 2 不適正処理対策消 ～ 廃棄物の山対策～

- ・ 未然防止対策
- ・ 廃棄物の山の撤去・改善事業



# 廃棄物の山対策



# ～ 不法投棄撲滅大作戦 ～

## 不法投棄の現状

### 生活環境への影響

石綿など有害物質が含まれる廃棄物の不法投棄。



県民生活の  
大きな不安要因

### 悪質・巧妙化

休日・夜間、人目につみにくい場所で不法投棄。  
小規模不法投棄の増加。  
暴力団の関与。



証拠収集の困難化。

### 広域化

県境を越えての廃棄物の不法投棄、不適正処理。

## 未然防止への取組(適正処理の推進)

### 不法投棄防止啓発

適正処理講習会の開催  
啓発PRの実施

### 排出元での適正処理の徹底

家屋解体現場への立入指導  
排出事業所への立入指導  
処理業者への立入指導



県イベントでの啓発PR(ティッシュ配布)

## 早期発見への取組(監視の強化)

### 産業廃棄物不法投棄110番

0120-530-384 (フリーダイヤル 24時間受付)  
ゴミヲ ミハルヨ

### 民間との不法投棄通報協定

運送事業者など11団体と締結

### 土日・夜間の監視パトロール

警備会社へのパトロール委託



## 早期対応への取組

### 市町村職員の県職員併任

54市町 300人、現場での早期対応

### 悪質事案への対応強化

警察との連携強化  
近隣都県、関係機関(土木部局、農林部局、分析機関)との連携強化



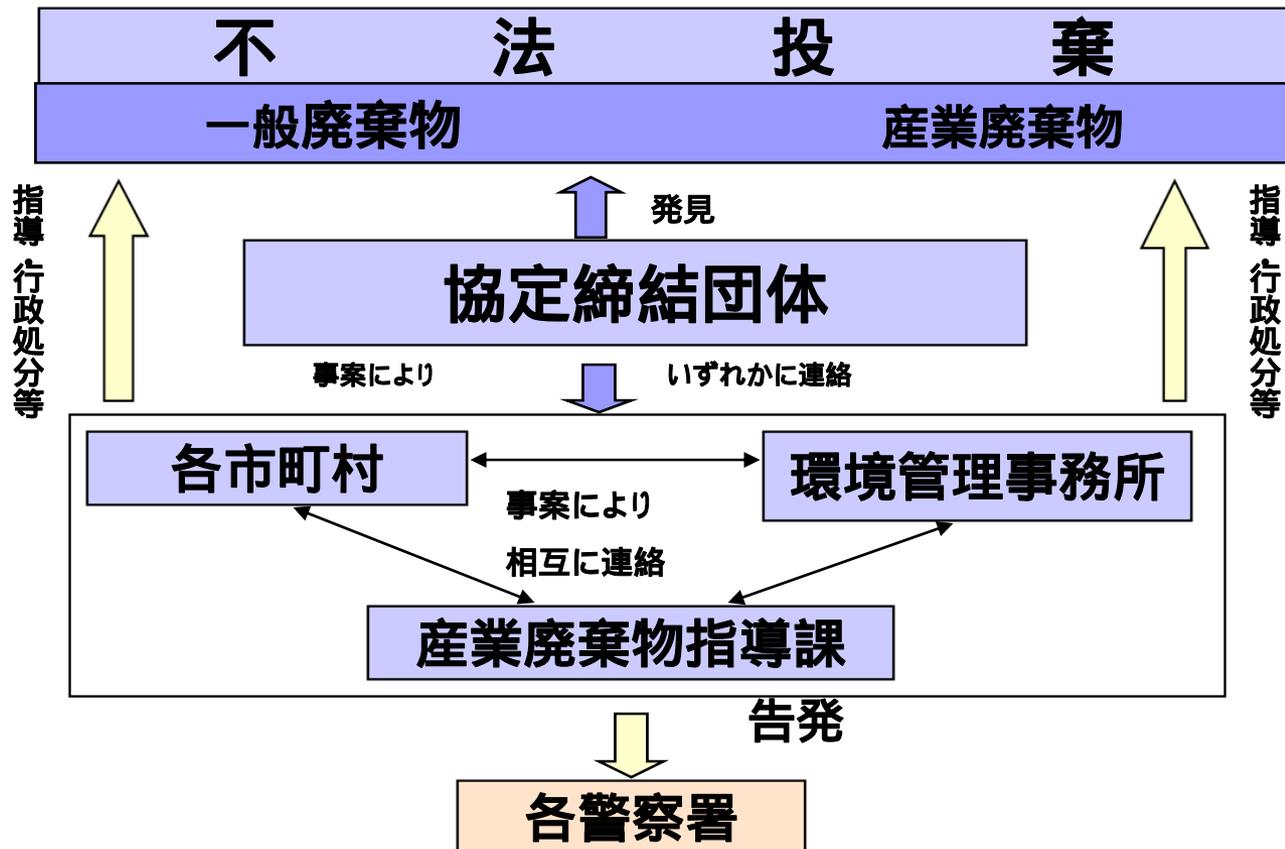
警察と合同での不法投棄現場立入

不法投棄の撲滅



# 民間との不法投棄通報協定 11団体

東京電力(株)埼玉支店、(社)埼玉県トラック協会、武州ガス(株)、  
ヤマト運輸(株)西埼玉主管支店、日本通運(株)埼玉支店、佐川急便(株)関東支社、  
(社)埼玉県産業廃棄物協会、赤帽首都圏軽自動車運送(協)埼玉県支部、  
(財)日本釣振興会埼玉県支部、埼玉県タクシー協会、(社)埼玉県建設業協会



# 廃棄物の山の撤去・改善事業

県、市町村、民間等の協力による撤去・改善事業  
環境汚染、災害等危険性のある山を行政代執行又は  
けやき積立金で対応

行政代執行 2件

(廃油、汚泥等 1件、硫酸ピッチ 1件)

けやき積立金 6件

(建設廃材等 4件、硫酸ピッチ 1件、廃タイヤ 1件)

## けやき積立金の拡充(H14～H18)

- ・ 拡充額 4億5.6千万円  
(県2億円、市町村約1億8千万円、民間約7.6千万円)
- ・ 積立金残高 約4億7千万円(平成20年5月末)



# 環境基本計画(平成19年3月)への位置付け

## 重点取組施策

- (1) 地域と共存する安心な再資源化施設の整備と運営
- (2) 安心して暮らせる廃棄物適正処理の推進
- (3) 産業廃棄物の大量たい積等への取組の推進

循環型社会を実現するため、資源を有効活用するとともに、廃棄物の発生抑制、再使用、再生利用及び適正処分の確保を推進する必要があります。また、産業廃棄物の大量たい積等への取組を推進します。

重点取組 施策指標	現状値 17年度	進行管理値				目標値 23年度
		19年度	20年度	21年度	22年度	
1人1日当たりの 一般廃棄物排出量	990g (H16)	983	980	978	975	970g
一般廃棄物の再生利用率	23.2% (H16)	25.3	26.0	26.7	27.4	28%
産業廃棄物の再生利用率	51.6% (H16)	54.0	54.8	55.5	56.3	57%
改善を要する産業廃棄物の 大量たい積件数	91件 <sup>※1</sup>	79 (4) <sup>※2</sup>	75 (4)	71 (4)	67 (4)	63件 (4)

※1 平成17年5月31日現在の産業廃棄物の大量たい積(3,000m<sup>3</sup>以上)の件数(さいたま市、川越市を除く)

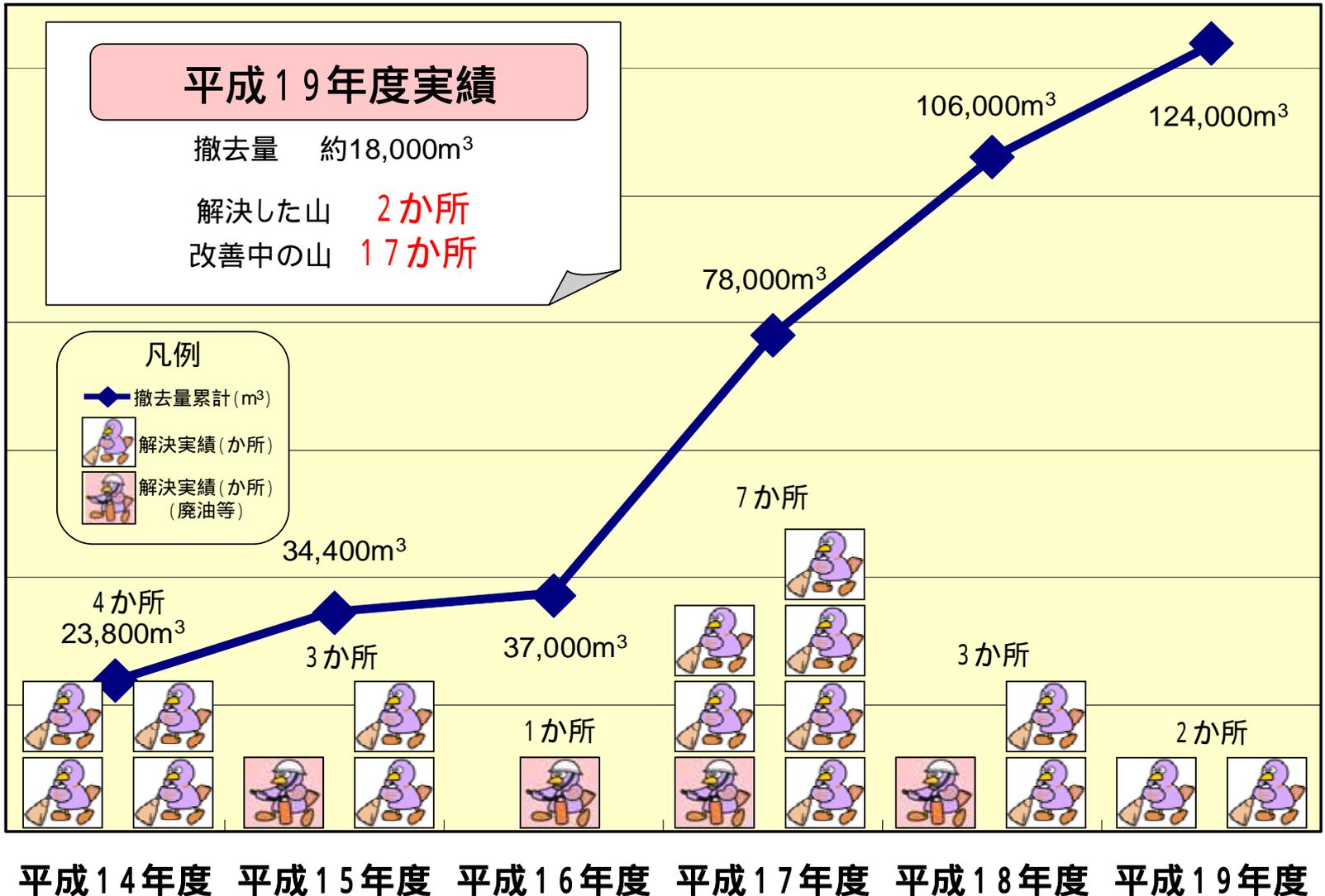
※2 ( )内は、年度ごとの改善件数



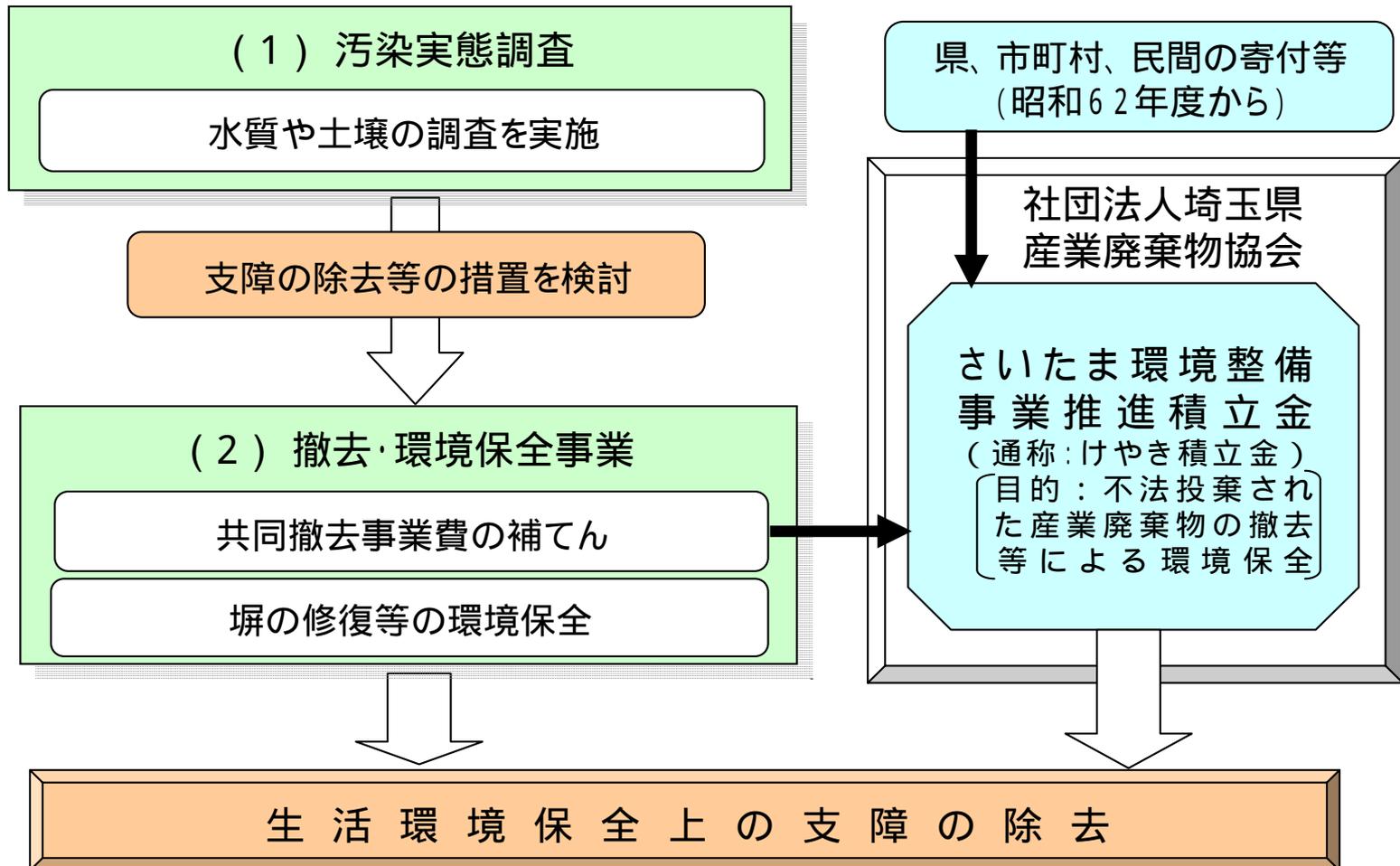
# 産業廃棄物の山 (3,000m<sup>3</sup>以上) の解決実績

撤去量累計 (m<sup>3</sup>)

120,000  
100,000  
80,000  
60,000  
40,000  
20,000  
0



# けやき積立金のスキーム



# 3 循環型社会の構築

## ～ 彩の国資源循環工場の概要～



公共関与による全国初めての総合的「資源循環型モデル施設」

# 彩の国資源循環工場

- 環境分野で21世紀をリードする先端技術産業の集積
- 埼玉県の実験による高度な安全性・信頼性の確保
- PFIと借地方式の併用による民間活力の活用



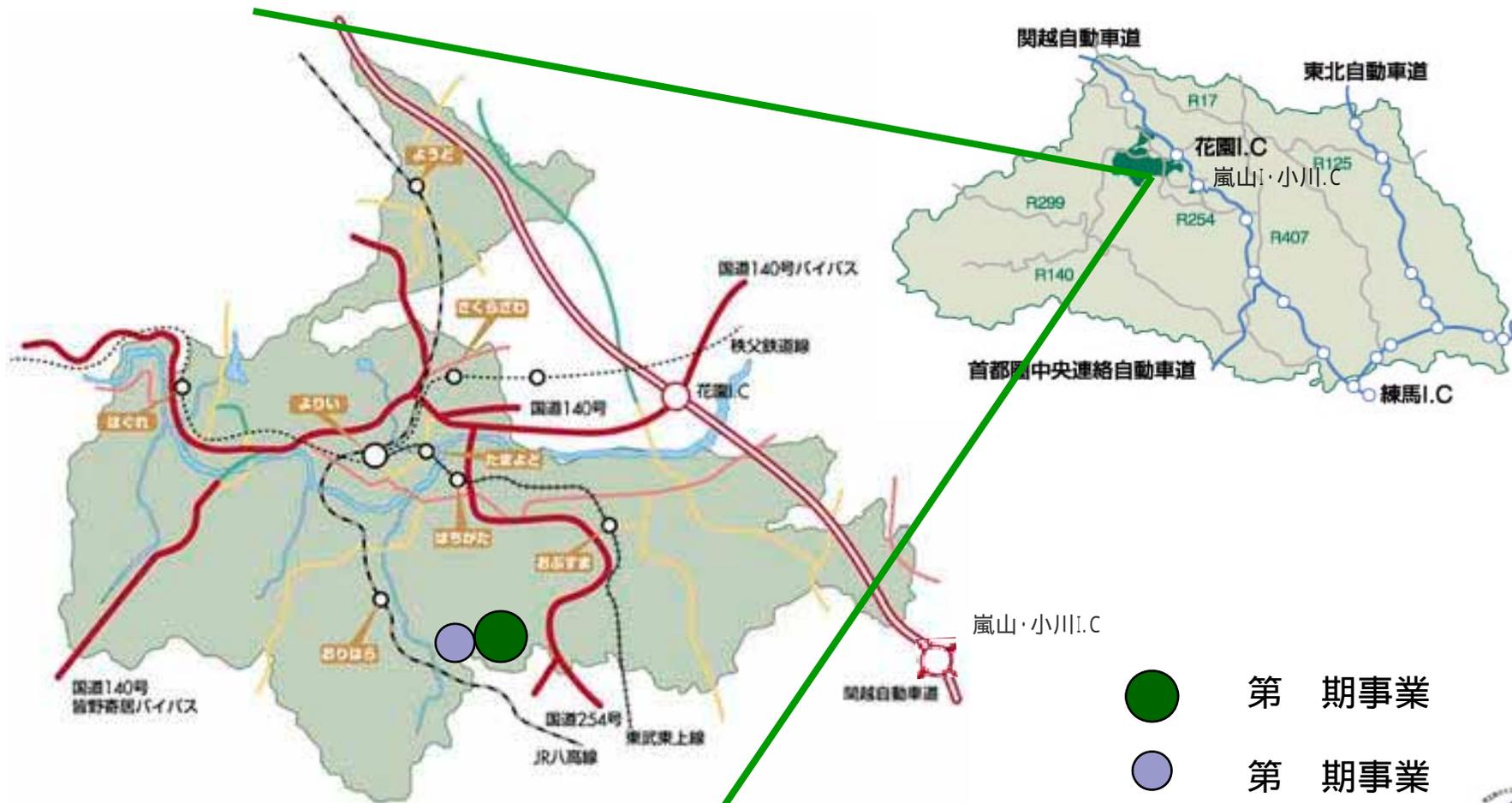
## 事業の目的

循環型社会の形成  
廃棄物の高度な循環利用  
先端技術産業の誘導と集積  
地域雇用と経済の活性化



# 彩の国資源循環工場的位置

(埼玉県環境整備センター)



# 埼玉県環境整備センター

☆☆ 環境は人と自然のハーモニー ☆☆

- ・県内市町村、一部事務組合からの一般廃棄物
- ・中小企業者等、公社、企業局(県)の県内から排出された産業廃棄物・建設残土

## 事業内容

### 最終処分

(一般廃棄物と産業廃棄物)

### 埋立期間

平成元年2月～  
平成28年3月

### 埋立容量

271万トン

### 残余重量

141万トン

## 受入金額

### 中小企業・市町村

・焼却灰・燃えがら

18,000円/トン

・廃プラスチック・金属くず等

17,000円/トン

### 受入実績

19年度 6万5千トン

一廃 4万7千トン

産廃 1万8千トン

## 土地利用

### 敷地面積

97.7ヘクタール

・埋立面積

26.8ヘクタール

・循環工場用地

19.2ヘクタール

・公園緑地面積

15.6ヘクタール

# 彩の国資源循環工場の諸元

## 第 期事業

用地面積 : 9 7.7 ヘクタール

工場用地 : 1 9.2 ヘクタール

公園緑地 : 1 5.6 ヘクタール

名称 : 三ヶ山緑地公園

都市計画 : 工業専用地域 (97.7<sup>㊦</sup>)

産業廃棄物処理施設 (79.9<sup>㊦</sup>)

用地所有 : 埼玉県



# 彩の国資源循環工場の整備方法

## (1) PFI手法による整備

PFI手法	サービス購入型PFI(BTO)	独立採算型PFI(BOO)
整備事業	事業基盤・公園緑地・研究施設	サーマルリサイクル施設
事業手法	PFI事業者は施設を建設後、県に引き渡し、県からの委託料により設計・建設費を賄うとともに、維持管理・運営を行う。	PFI事業者は自ら施設を建設・運営し、事業収益は事業者に帰属する。事業終了後、施設を解体・撤去し、用地を県に返還する。
事業用地	埼玉県使用	県有地賃貸(事業用地定期借地権)
契約期間	25年間	20年間
保証	・埼玉県の支払総額(固定) 約47億8千万円	・県による支払い保証なし ・受入廃棄物の供給保証なし

参考:埼玉県の借地地代収入 総額 約62億円(25年間)

## (2) 用地賃貸方式による整備

県は、民間事業者に対し、リサイクル工場の用地を運営協定書に基づく安全管理を条件として、賃貸(事業用地定期借地権)。契約期間は20年間。



# 立地企業一覽(第 期事業)

事業	企業名	原料	主な製品	受入量	資源化率
PFI	オリックス資源循環株	廃棄物全般	発電、金属等	450ト/日	100%
借地	(株)エコ計画	廃棄物全般	肥料・RPF等	594ト/日	90%
	(株)環境サービス	廃プラ・生ゴミ	RPF・堆肥	57ト/日	100%
	(株)ウム・ヴェルト・ジャパン	蛍光管	ガラス・金属	11ト/日	100%
	(株)アイル・クリーンテック	食品残さ	堆肥	108ト/日	100%
	埼玉環境テック株	建設廃棄物	木材チップ等	588ト/日	87%
	(株)埼玉ヤマゼン	焼却灰	人工砂	288ト/日	90%
	よりいコンポスト株	下水道汚泥	有機肥料	200ト/日	100%



# 彩の国資源循環工場航空写真

